**平成２８年１０月　　真鶴町教育委員会定例会要旨　　会議録**

期　　　間：　　　　平成28年10月21日（月）　　　　午後２時より

場　　　所：　　　　真鶴町民センター　第２会議室

出　席　者：　　　　津田博委員長、脇山亜子委員長職務代理者、

玉邑恵子委員、草柳栄子委員、牧岡努教育長

　　　　　　　　　　岩倉みどり教育課長、

　　　　　　　　　　書記：小野真人学校教育係長、片山武丸主事補

欠　席　者：　　　　なし

傍　聴　者：　　　　なし

議事

１　開会

教育委員長より、開会あいさつ

２　教育長の報告

1. 学校教育に係る部分について

・園・学校の様子に関すること

・児童生徒指導に関すること

・学校の安全に関すること

・その他

（２）生涯学習に係る部分について

・スポーツ・文化事業に関すること

・青少年育成に関すること

・文化施設に関すること

・その他

３　協議事項

（１）まなづる土曜教室について

教　育　長 　私から説明をさせて頂きます。それでは、資料１をお願いします。この事業の立ち上げに向け、三つございます。一つは子どもたちに休日の学習機会を提供したいということです。二つ目は居場所つくりという事で、放課後子どもいきいきクラブと同じ狙いです。放課後子どもいきいきクラブは体験的活動が中心であり、土曜教室は学習的活動が中心になります。三つ目は町の子育て支援の一貫としての位置づけも考えております。町長の公約の中にも子育て支援の充実という事がありますので、その一環として行ってまいります。事業主体は真鶴町教育委員会です。事業名はまなづる土曜教室です。こちらは文部科学省の事業補助を受けるという事で、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業に含まれます。また、学校・家庭・地域連携協力推進事業の枠組みにも含まれます。学校・家庭・地域連携協力推進事業の枠組みには、放課後子どもいきいきクラブも含まれますので、大きく見ると放課後子どもいきいきクラブと同じ枠組みといえます。目的は上学年四年生以上の児童を対象に子どもの居場所づくりと学習機会の提供等を行い、子どもの健全育成を図ります。下学年３年生以下は放課後子どもいきいきクラブへの参加が多いことから、本事業の対象は上学年４年生以上としました。対象は先ほど申し上げましたとおり小学校４学年以上で参加を希望する児童です。ただし初年度は６年生のみとします。状況や支援等の状況を踏まえながら対象を段階的に広げていきます。補足的説明を資料中にしておきました。２ｐをご覧ください。事業概要です。スタッフの職種という事で３種類考えております。一つ目はコーディネーターです。学習支援員や安全管理委員の調整を行います。１名を予定しています。２つ目は学習支援員です。学習教材の準備や学習支援を行います。４名から５名に１人の割合で確保していきたいと思います。三つ目は安全管理委員です。参加児童の出欠席の確認や学習中の安全管理を行います。かっこの中は文部科学省の事業の際の名称です。今申し上げたのは本町での名称になります。これらの役職は三つ兼ねられませんが、二つまでなら兼ねることができます。申し込み方法は基本的に放課後子どもいきいきクラブと同じ方法を考えております。開催通知を配り、申込書を配布し、登録を行います。小学校へは事務局から申込児童の名簿を渡し連携を図ります。安全管理委員は受付で出欠席を確認し、終わりに人員確認も行います。実施形態の説明です。実施時間は毎週土曜日10時から12時です。実施教科は国語、算数、英語と総合学習的なテーマを考えております。保険関係以外は無料とします。ただし、筆記用具等は個人で用意していただきます。場所は町民センターとコミュ二ティ真鶴を中心に考えております。保険関係はスポーツ安全保険に加入し、保険料は保護者に負担していただきます。毎年800円です。こちらも放課後子どもいきいきクラブのものと同じです。予算措置の概要です。今年度は総額39万円の事業になります。国と県から260,000円、町から130,000円の支出予定です。予算の内訳ですが、ほぼ人件費で、360,000円です。コーディネーター、学習支援員、安全管理員に、１時間750円の２時間で、年間40週の計算です。一時間の単価は次年度以降に向けて、額の改善を検討しています。今年度は予算総額の関係でこの形です。会議費や研修費は使いません。教材費は25,200円を予定しています。その他でスタッフの保険料はこちらから６名分支出します。研修や会議についてきましては、放課後子どもいきいきクラブと効率的に合わせて行いたいと考えております。研修会については、基本的に予算をかけず、資料に記載のあるような形で年一回程行いたいと思います。資料４ページ、５ページはスタッフ等の募集、来年度６年生に配布する資料です。初めての事業になりますので、ご意見をいただきたいと思います。以上です。

委　員　長 　いかがでしょうか。

委　　　員 　現在、高学年の土曜日の過ごし方は、サークルやスポーツなど習い事をされている子も多いと思うのですが、その辺りの下調べはしているのですか。していない人はどのくらいいるのか把握していらっしゃいますか。

委　員　長 　スポーツなどの習い事をしていれば、そこに居場所があることになりますから、事業への参加は必要ないと思います。

教　育　長 　現在把握しておりませんが、来年２月頃を目途にアンケートを取る際に把握したいと考えております。

委　　　員 　土曜日の10時から12時という時間は、まなづる土曜教室というくらいですから、動かせないのでしょうか。

教　育　長 　基本的にこの時間帯で行おうと考えています。

委　員　長 　年間40週となると、夏休みも含めているのですか。

教　育　長 　夏休み中も行う予定でいます。草柳委員に伺いたいのですが、調整せずに放課後子どもいきいきクラブの事を記載しています。基本的に、居場所作りの部分に関しては一緒ですが、内容や曜日に違いがあるので、会議を全て一緒に行うとおかしいと思います。ある部分共有し、基本的には別で行いたいと考えています。

委　　　員 　ある部分とは具体的にはどんな部分でしょうか。

教　育　長 　運営について別々に検討しますが、課題などの情報を共有するイメージを持っています。難しいでしょうか。

委　　　員 　放課後子どもいきいきクラブで遊びを担当する先生には、土曜教室の事業はあまり関係ないと思います。

教　育　長 　子どもの活動の様子や共通の課題が出るかもしれません。どうしても別々にと言われれば別にするしかないですが、元々の文部科学省の事業は同じなので、一緒にできればと思っています。検討をお願いします。

委　員　長 　教育委員会が良くても、放課後子どもいきいきクラブがダメなら、共有について押し付けはできません。

委　　　員 　子どもの情報の共有はできると思います。

教　育　長 　運営委員会や会議は事業として持つ必要があります。

委　　　員 　安全管理員さんが、放課後子どもいきいきクラブで努めている方が兼務してくれると良いなと思いますが、積極的にご協力いただける方は色々なことをなさっているので、スタッフの人材確保が難しいかと思います。

教　育　長 　その意味でも議会に話し、早めに募集を掛けられる状態にしました。下半期で検討したいと思います。

委　員　長 　国語、算数、英語が中心になりますが、３教科を２時間で行うのですか。日で分けるのですか。

教　育　長 　その部分は検討課題ですが、グループにし、１時間で教科を分け、１日に２教科をグループごとに行う事や、その日にやる教科をあらかじめ決めて、２時間で1教科を行う事など、色々な形が考えられると思います。こちらは実際にスタッフが集まってから、スタッフと相談して決めていきたいと考えています。どの教科をやるにせよ、出来るだけ個別に近い気持ちで、１人に対し、４人から５人で指導を行いたいと考えています。

委　員　長 　１日２人の支援員だと思いますので、同時でも縦系列でも授業を組むことができます。

教　育　長 　予算の上では、一回につき、学習支援員４名を検討しています。安全管理員やコーディネーターにも行っていただき、６名体制です。来年の６年生の半分が来たとすると15人です。３名から４名のグループに１人付く想定です。人数が増えたら検討ですが、この形でのスタートを考えています。

委　　　員 　高学年向けのおもしろ体験隊などの事業は土曜日ですよね。

係　　　長 　夏休み以外は、基本的に土曜日あるいは日曜日に開催しています。

教　育　長 　他の行事と重なった時は、子どもに選んでもらえばいいと思います。おもしろ体験隊などは、ある時期にしかできない特別な経験です。私個人としてはそこを選んでほしいです。また、日曜日は家庭の時間だと思いますので、日曜日に動かすという事は考えていません。

委　　　員 　居場所づくりの事業とも調整が必要かと思います。

教　育　長 　居場所づくりの活動や、ハッピー真鶴実行委員会において、子どもを対象にした活動があります。火曜日の放課後に居場所づくりの活動があり、土曜日の午後に連鶴を子どもたちに広げたいということで、ハッピー真鶴実行委員会の活動があります。話し合いの中で、居場所づくりの学習面については、教育委員会で検討しているという事をお話ししました。事業主体は違っても同じ目的のための事業ですから、全体として真鶴の子どもたちの支援として行っていると考えた方がいいと思います。そのような部分で、連携を図る必要があると、担当者と話しました。

委　員　長 　教育長からこの件についてご意見いただきたい部分はありますか。

教　育　長 　特にありませんが、経済文教常任委員会でご意見いただいた際には、この事業が学習塾化すると本来の目的が変わってしまうと言ったご指摘や、人件費についてご指摘を頂きました。これについては単価を上げる方向で検討、改善するとお答えしました。文言についてもご指摘いただきました部分があり、お配りしたものには、それを反映しております。このように、土曜教室についてはある程度見通しがつきましたが、実際に開始するためにはスタッフの確保が必要です。教育委員の皆様にはその点でご協力いただきたいと考えております。声掛け等、よろしくお願いいたします。

委　　　員 　スタッフの対象者に特別な枠はありますか。保護者などはスタッフとして活動できますか。

教　育　長 　特別な枠は考えておりません。まず、教員経験のある方や、学生で子どもに教えることに興味がある方、または他市町村から移住されてくる方などを想定していました。保護者は想定していませんでした。学習内容の理解などで課題が出てくるかもしれません。その辺りについては検討が必要だと思います。

委　　　員 　二つ役職を兼務したら、二つの役職分の人件費を貰えますか。

教　育　長 　二つの役職分貰えます。この点については、国の事業も参考にしましたが、問題ないということでした。再度確認を取ります。一つの職の単価はあまり高くないので、二つ兼務でボランティアの方にもちゃんとした報酬になればという部分もあります。こういった部分が一人に集中しないように上手くローテーションさせていきたいと思います。詳しい部分は実際にスタッフを集めてきて、運営できるかという面で検討したいと思います。

委　員　長 　12人のスタッフを集めるとなると厳しいですね。

教　育　長 　一度に６人ですので、その倍くらいの人数が居れば安定すると思います。

委　　　員 　大学生の確保ができればいいですね。

委　　　員 　一グループできて協力していただければ、人数の確保に繋がりやすいですね。

委　員　長 　このような計画で、12月頃から募集を掛けるという事でよろしいでしょうか。

全　委　員 　（全員了承）

委　員　長 　それでは委員の皆様もご協力をお願いします。資料中の案の字を消します。協議事項は以上になります。資料２の月間事業計画の報告をお願いします。

報告事項　　　　　　　　施設の月別利用状況、事業計画等を説明

委　員　長 　ご説明ありがとうございます。以上をもちまして10月定例会を終了させていただきます。ありがとうございました。

次回定例会　　　　　平成28年11月21日(月)　　 協議会１３：３０～

 　　　　　　　　　　真鶴町民センター　第１会議室

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 定例会１４：００～

真鶴町民センター　第２会議室